



注意

この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。



注意

■工事をされる方へのお願い

- 機器を正しく安全に使用していただくためにこの「設置工事説明書」をよくお読みになり、指定された工事を行ってください。工事の際は電気設備に関する技術基準などの関連法規を遵守してください。
- 床暖房機能を設定される場合は、必ず床暖房の床構造・床暖房方式（床暖房パネルなど）・床仕上げ材を確認し「床暖房設定変更説明書」に沿って適切に設定を行ってください。
- 本品を指定する機器に使用してください。

部品の確認

■梱包内には下記の商品が入っています。取り付け前にご確認ください。

名 称	形 状	個数	名 称	形 状	個数	名 称	形 状	個数
浴室リモコン		1	固 定 金 具	 (壁貫通取り付けの際は不要)	1	台所リモコン		1
タッピンねじ	 (M4×25)	2	設定変更説明書		1	固 定 金 具		1
カールプラグ	 (6×25)	2	取 扱 説 明 書		1	タッピンねじ	 (M4×25)	2
Y 型 端 子	 (M3用)	2	設置工事説明書	 (本紙)	1	長 ね じ	 (M4×65)	2
閉 端 接 続 子		2	パ ッ キ ン	 (壁貫通取り付けの際に使用)	1	Y 型 端 子	 (M3用)	4
か ん た ん 接 続 ガイ ド		1				床 暖 房 設 定 変 更 説 明 書		1

浴室リモコンの取り付け



工事前のご注意

■設置場所のご注意

1. 低電圧(24V以下)で防水もしており危険はありませんが、浴室内のなるべくお湯または水がかからない場所で操作しやすい所に設置する。(図1)
2. 入浴中に浴槽の蓋などで、リモコンが隠れてしまうような場所(例えばフロタフックの近くなど)は避けて設置する。

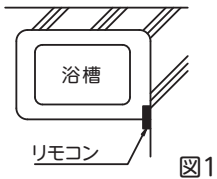


図1

■リモコンコード（別売部品）の配線

1. リモコンコードは1つのリモコンにつき長さ25m以内で使用する。25mを超えると、機器の作動不良の原因となります。
2. リモコンコードは指定品を必ず使用する。
3. リモコンコードを貫通させる壁面は、外側から屋内に上がり勾配で穴をあけコードを通した後は防水のためシールする。



設置工事

■取り付け上の注意について

1. 工事の際は次の法、基準に従って設置する。
「電気設備に関する技術基準」「電気工事士法」「内線規程」「電気用品安全法」「ガス機器の設置基準及び実務指針（日本ガス機器検査協会発行）」
リモコンおよび、それに関連したリモコンコードの取り付け、接続は小勢力回路に該当しますので資格がなくても施工が可能です。
2. リモコンコードは保護のため、電線管もしくはC D管を用いて通線することをお薦めします。電線管の内径はφ18mm以上のものを使用してください。
3. リモコンコードは他の製品のリモコンコードや他の電気製品の電源コードとの並走は行わない。機器が正常に作動しない場合があります。
4. リモコンコードを中継してリモコンからリモコンへ配線しない。
1つのリモコンに対し、1本(2心)のリモコンコードを使用してください。機器の故障・作動不良の原因になります。
5. くぎ打ちのおそれがある場合には、リモコンコードを厚さ1.2mm以上の垂鉛メッキの鋼板にて保護をする。
6. リモコンコードは屋外から屋内に向けて、上り勾配になるように通線する。
7. リモコンの全周(図4・図5・図6)および防水カバーの全周(図13)のコーキング(壁内部への水の浸入の防止)を行う。
8. リモコン間の距離が近い場合、ハウリングを起こすことがあります。
通話テストは浴室の扉を閉めた状態で行う。
※機器本体とリモコンコードの接続方法については、機器本体の設置工事説明書をお読みください。

壁面直取り付け・ユニットバス取り付けの場合

1. 壁にφ20mmのリモコンパイプ貫通穴をあける。(図2・図3)
2. リモコン取り付け用の穴をあける。
※穴の周囲にバリがないこと。
 - ・壁面直取り付けの場合は、リモコン取り付け用の穴(φ6mm・深さ30mm)をあけ、付属のカールプラグを打ち込みます。(図3)
 - ・ユニットバス取り付けの場合は、リモコン取り付け用の穴(φ5mm)をあけ、リモコンを取り付けるユニットバス外壁面に裏打板を取り付けます。(図6)

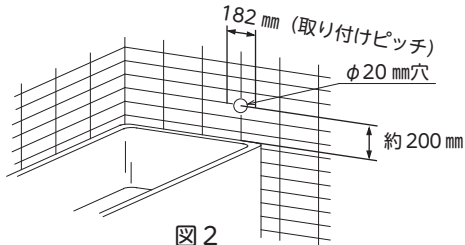


図2

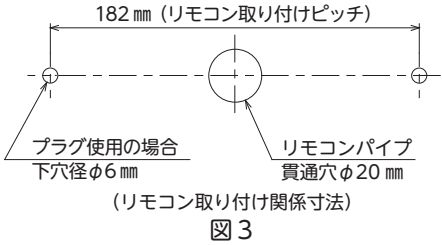


図3

注) リモコンから出ているコードの位置と壁面の貫通穴を合わせてください。

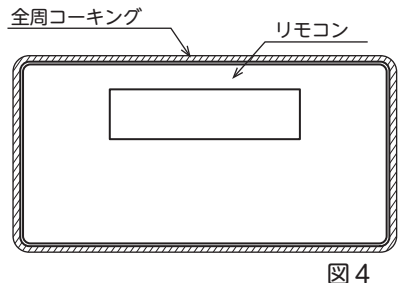


図4

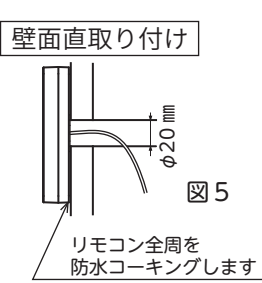


図5

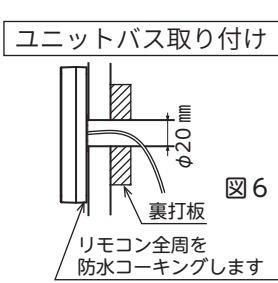


図6

3. リモコンコードを7mmほど皮むきして、中継コード(長さ約400mm)の閉端接続子に挿入し、しっかり圧着する。(図12)

4. 固定金具を付属のタッピンねじ2本で壁に水平になるよう、ねじ部をコーキングしてから固定する。
※締め過ぎに注意してください。ねじは必ず手回しのドライバーで締め、電気ドライバー・インパクトドライバーは使用しないでください。(図7)
5. リモコンと固定金具の中央を合わせ、裏面下側のへりを固定金具の下部折り返しの外側に当てたままリモコンを起こし、爪(4か所)を確実ににはめてからしっかり止まるまで下にスライドする。(図8)
6. 必ずリモコン全周をコーキングする。(図4・図5・図6)
コーキングを忘れると、リモコン内部に水が入り、故障の原因になります。

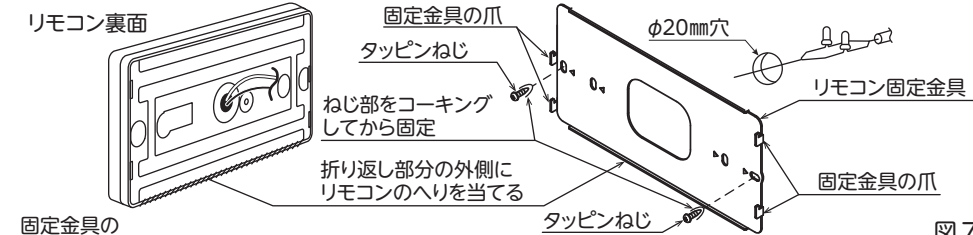


図7

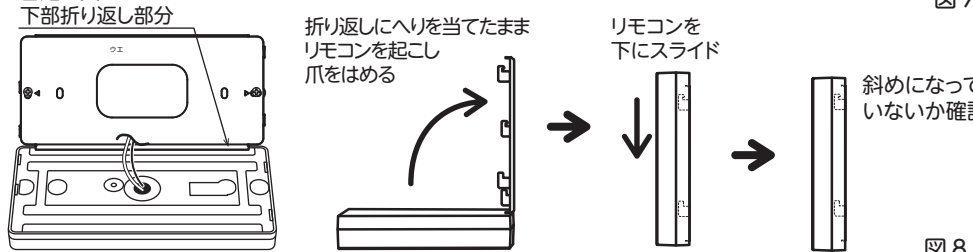


図8

壁貫通取り付けの場合 下記別売部品を使用します。

別売部品			
名 称	部 品 コード	形 状	用 途
屋外カバーセット	WP000	 (カラーパイプナット在中)	壁貫通取り付けを行う場合に使用します。
		 (φ24mm 130~205mm)	

1. 壁にφ24mm以上の穴をあける。標準タイプの取り付け壁厚は130~205mmです。(図9)
※取り付け壁厚が205mm以上の場合は特注となり、以下の部品が必要となります。

名 称	部 品 コード
内パイプ組立	W P 0 0 8
リモコンソケット	A リ 0 1 3

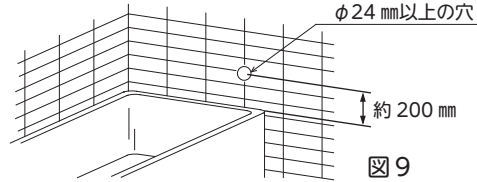


図9

2. パッキンの白い剥離紙をはがし、リモコンの裏面に貼り付ける。(図10)
3. ステーパイプにリモコンの中継コードを通し、リモコンにステーパイプをねじ込み、取り付ける。(図11)
4. ステーパイプが外壁面より30mmほど出るようにステーパイプのねじで長さを調節して、壁の穴に挿入する。(図11)
5. パッキンの茶色い剥離紙をはがし、リモコンが水平になるように壁に貼り付ける。
6. 屋外で、防水カバーのふたをあけ、防水カバー・カラーの順で中継コードとステーパイプに通す。(図11)
7. パイプナットをステーパイプに締めつける。
(締め過ぎに注意してください) (図11)

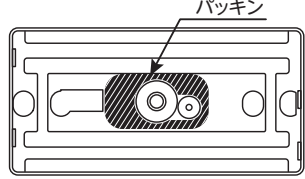


図10

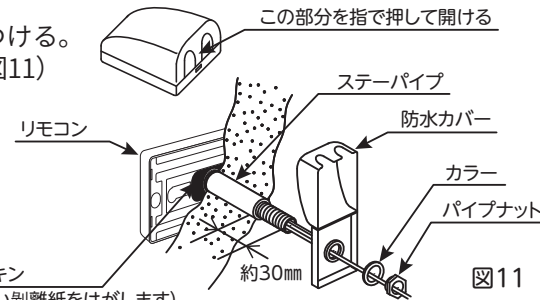


図11

8. リモコンコードを7mmほど皮むきして、閉端接続子に挿入し、しっかり圧着する。(図12)
9. 接続部が防水カバー内に収まるよう、コードクランプで固定する。(図13)
また、防水カバー全周のコーキングを行う。
10. 必ずリモコン全周をコーキングする。(図4・図5・図6)

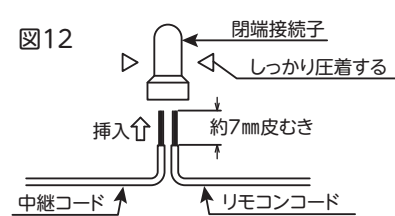


図12

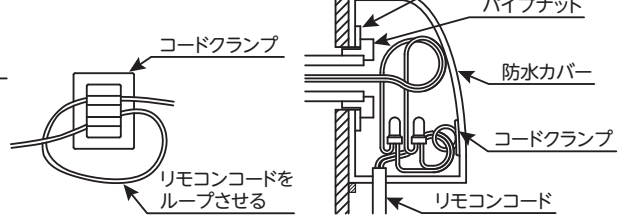


図13

裏面に続く

台所リモコンの取り付け

△注意 工事前のご注意

■設置場所・設置時の注意

下記の場所には取り付けない。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 温度の高くなる場所 | 5. 油のかかる場所 |
| 2. 屋外や直射日光のあたるところ | 6. 幼児の手の届くところ |
| 3. 湯気のかかる場所 | 7. 浴室 |
| 4. 水しぶきのかかる場所 | 8. ちり・ほこりの多いところ |

■電気ドライバー・インパクトドライバーは使用しない

ねじを締めつける際強く締めすぎると、リモコンや固定金具が変形するおそれがあります。

■リモコンコード(別売部品)の配線

1. リモコンコードは1つのリモコンにつき長さ25m以内で使用する。
25mを超えると、機器の作動不良の原因になります。
2. リモコンコードは各社(ガス会社、OEM)指定品がある場合、必ず指定品を使用する。
メーカー品のリモコンコードはFMY02-〇〇を使用してください。
3. リモコンコードを貫通させる壁面は、屋外側から上がり勾配で穴を開け、コードを通した後は防水のためシールする。
4. リモコンコードの皮をむき(下図寸法)、樹脂スリーブ付Y型端子(付属品)を取り付ける。

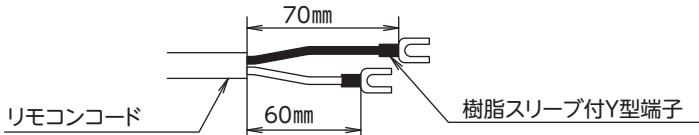
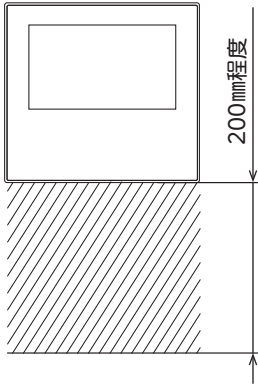


図1

△注意 設置工事

■取り付け上の注意について

1. 工事の際は次の法、基準に従って設置する。
「電気設備に関する技術基準」「電気工事法」「内線規程」「電気用品安全法」
「ガス機器の設置基準及び実務指針(日本ガス機器検査協会発行)」
リモコンおよび、それに関連したリモコンコードの取り付け、接続は小勢力回路に該当しますので資格がなくても施工が可能です。
2. リモコンコードは保護のため、電線管もしくはCD管を用いて通線することをお勧めします。電線管の内径はφ18mm以上のものを使用してください。
3. リモコンコードは他の製品のリモコンコードや他の電気製品の電源コードとの並走は行わないでください。機器が正常に作動しない場合があります。
4. リモコンコードを中継してリモコンからリモコンへ配線しない。
1つのリモコンに対し、1本(2心)のリモコンコードを使用してください。機器の故障・作動不良の原因になります。
5. 壁面よりリモコンコードが十分な長さで引き出されていることを確認する。
6. リモコンコードのY型端子は樹脂スリーブ付(付属品)を使用する。
7. リモコン間の距離が近い場合、ハウリングを起こすことがあります。
通話テストは浴室の扉を閉めた状態で行う。
8. 常時電波を発生する機器の近くに設置しない。通話機能を使用するときに、浴室リモコンから雑音が聞こえることがあります。やむを得ず設置する場合は、電波がリモコンに悪影響を与えないかどうかを現地確認の上、設置場所を決めてください。
9. AUX端子(φ3.5外部入力端子)の抜き差しができるように下側には200mm程度のスペースを設けてください。
10. リモコンに金属くずが付着したり、石膏ボードくずや微細なカスが入ったりしないように、壁に取り付ける直前に袋から取り出す。
リモコンに金属くずが付着すると音割れなどの原因になります。



■取り付け方法

1. 固定金具を壁に固定する。
固定方法により、使用する部品が異なります。
※締め過ぎに注意してください。ねじは必ず手回しのドライバーで締め、電気ドライバー・インパクトドライバーは使用しないでください。
※固定金具を壁に取り付けた後に、固定金具が壁から浮いていないことを確認してください。

《スイッチボックスへ固定の場合》

固定金具を付属の長ねじ2本を使用して、スイッチボックスに固定する。(図2)
※壁に穴を開けるときは、縦方向95±5mmで開けてください。大きく開けすぎると取り付け時に固定金具が変形し、不具合が発生するおそれがあります。穴の周囲にバリがないこと。
※スイッチボックス周りの加工くずは、必ず取り除いてください。

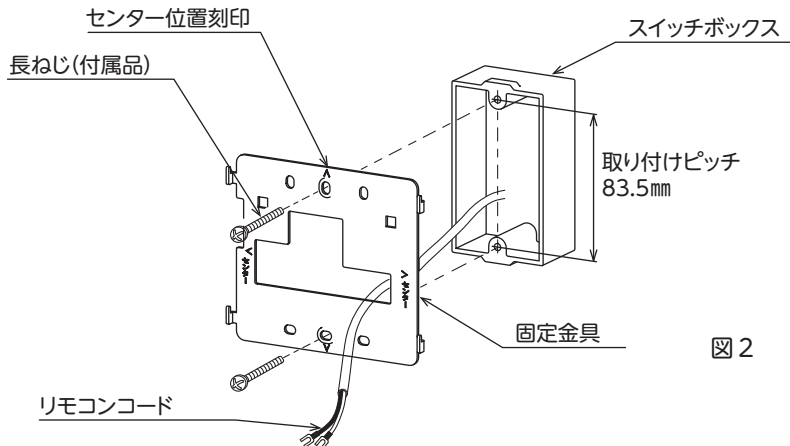


図2

《木質壁面へ固定の場合》

固定金具を付属のタッピンねじ2本を使用して、水平になるよう壁に固定する。(図3)
※壁に穴を開けるとき大きく開けすぎると、取り付け時に固定金具が変形し、不具合が発生するおそれがあります。穴の周囲にバリがないこと。
※石膏ボードに取り付けの際は、φ8の下穴を開け、別売の樹脂カールプラグ(部品コードWP001:2個入)を必ずご使用ください。
※開けた穴の周りの加工くずは、必ず取り除いてください。

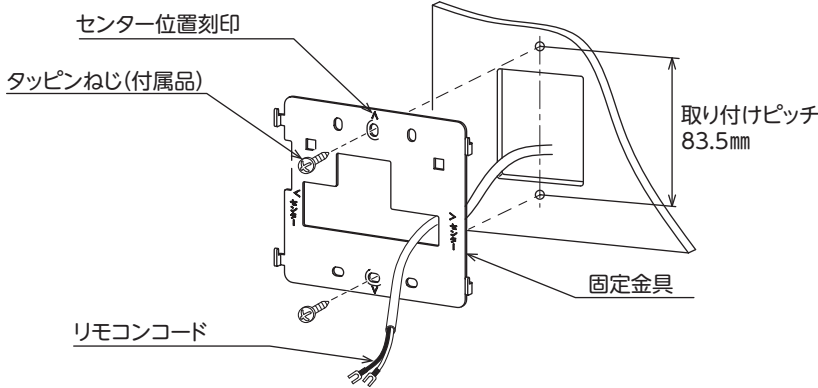


図3

2. リモコン裏面、端子台のねじ2本を緩めてリモコンコードのY型端子を接続する。(図4)

※Y型端子の取り付け方向に注意してください。

※締め過ぎに注意してください。ねじは必ず手回しのドライバーで締め、電気ドライバー・インパクトドライバーは使用しないでください。端子台を破損するおそれがあります。

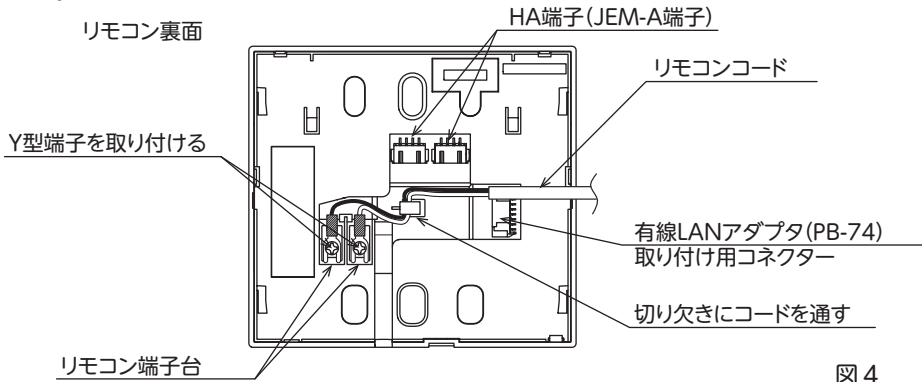


図4

※有線LANアダプタ(PB-74)を取り付ける場合は、有線LANアダプタの設置工事説明書に従って取り付けてください。

※リモコンコード下出しの場合、先に化粧枠のコード取入口をペンチなどで開けてください。
また、リモコンコードは切り欠きに通して引き出してください。(図5)

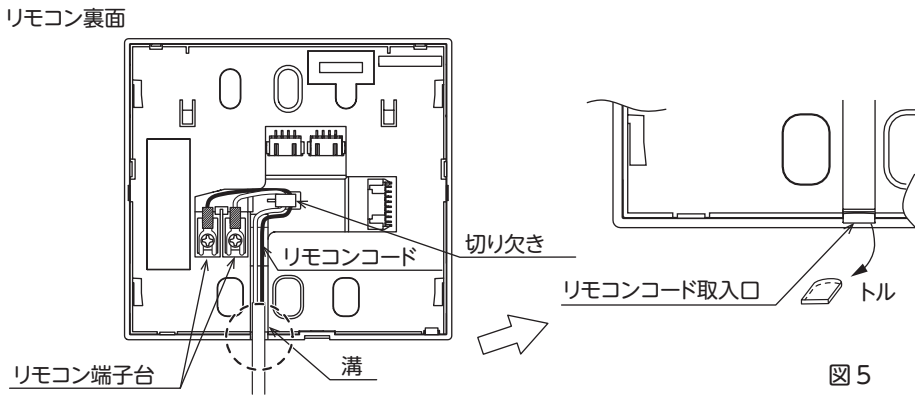


図5

3. リモコン本体を固定金具に押しつける。
固定金具の爪(4か所)とリモコン本体の切り欠き(4か所)の位置を合わせて、しっかりとリモコンを押し込んでください。(図6)
※取り付けにくいときは、無理に固定金具に取り付けないで、固定金具の取り付けからやり直してください。
※リモコンコードを固定金具とリモコン本体で挟み込まないように、注意して取り付けてください。

4. リモコン本体を下方へスライドさせ、リモコンを取り付ける。(図7)

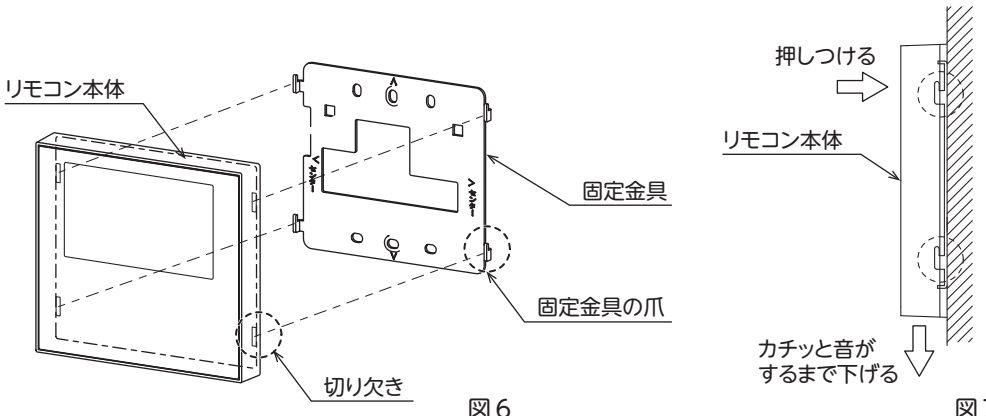


図6

図7

5. リモコン本体が固定金具に確実に取り付けられていることを確認する。

機器本体とリモコンコードの接続方法については、機器本体の設置工事説明書もお読みください。



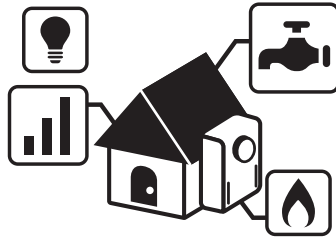
4HM017

ネットワークかんたん接続ガイド

リモコンを無線 LAN ルータに接続いただくと、
以下の機能がご利用いただけます。



- スマートフォンアプリからの床暖房やお湯はりの遠隔操作
- 給湯器で異常が発生した場合のスマートフォンへのお知らせ機能



スマートフォンアプリ
についての詳細は以下の
ホームページをご覧ください。

https://www.purpose.co.jp/special/purpose_connect/

右のQRコードを読み込むと
上記ホームページに移動します。



※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

*** リモコンを無線LANルータに接続する際の同意事項 ***

この製品をインターネットに接続すると、機器の稼働状況や機器が計測したエネルギーデータなどをサーバへ自動的に送信します。これらの情報は発電ユニットと給湯器の運転状況の見守りや、商品、サービスの開発、改良などの目的で使用されます。ご同意いただいたうえで、リモコンと無線LANルータの接続設定を行ってください。

事前確認事項

1 インターネット環境の確認

- 常時接続のインターネット環境があること。
- 無線LANルータを経由してインターネットに接続できる環境があること。

2 無線LANルータの無線機能確認

- 【必須】IEEE802.11bまたはg,n (nは2.4GHz帯のみ) に対応していること。
(b) (g) (n) などと表記されている場合もあります。) 無線LANルータの本体 (側面や底面) に貼り付けされているシールやパッケージの表示で確認できます。詳細は無線LANルータの説明書をご確認ください。
- 【必須】WPA2もしくはWPAの暗号化方式に対応していること。
- 【推奨】自動接続設定用のプッシュボタンがあること。(設定が簡単になります。)

★自動接続設定用のプッシュボタンには次のような名称があります。
WPS / AOSS2またはAOSS / らくらく無線スタート

※自動接続設定用のプッシュボタンがない場合や簡単接続がうまくいかない場合の接続方法については、リモコンの取扱説明書をご覧ください。

3

「メニュー」⇒「システム」⇒「ネットワーク」の順にタッチする。

メニュー



システム



ネットワーク



リモコンとルータの接続

1

※事前確認事項3の終了後、ネットワーク画面が表示されていることを前提に説明します。



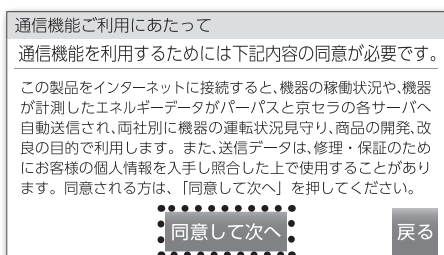
無線でルータに接続する

をタッチする。



同意して次へ

をタッチする。



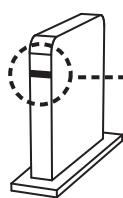
簡単接続

をタッチする。



2

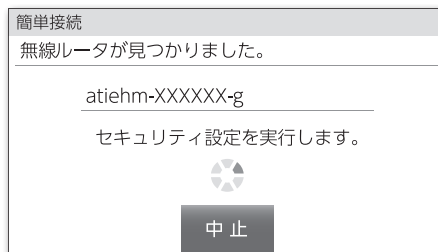
2分以内に無線LANルータの自動接続設定用のプッシュボタンを押す。



自動接続設定用の
プッシュボタン

※イラストは一例です

ルータが見つかったと
以下の画面を表示します。



接続成功

完了音が鳴ります。

終了

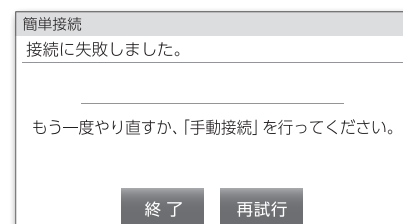
をタッチする。



ネットワーク画面に戻ります。

接続失敗

接続に失敗すると
以下の画面を表示します。
受け付け禁止音“ピピピッ”
が鳴ります。



もう一度やり直す場合は、事前確認事項を
再度確認し、操作を行ってください。

終了

→ネットワーク画面に戻ります。

再試行

→「無線LAN 機能ご利用に
あたって」の画面に戻ります。

トップ画面
に戻ると



トップ画面にを表示します。



有線でルータに接続する場合は、リモコンの取扱説明書の■有線でルータとリモコンを接続するを参照してください。

リモコンとスマートフォンの接続

- スマートフォンアプリ側の準備を先に行ってください。
- スマートフォンアプリについての詳細は表面を参照してください。

1

※事前確認事項3の終了後、ネットワーク画面が表示されていることを前提に説明します。

スマートフォン登録/解除

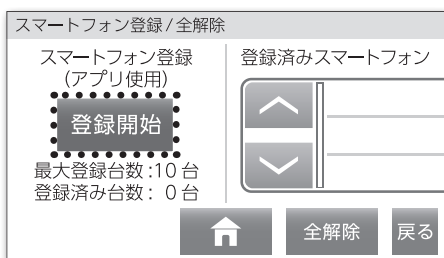
をタッチする。



2

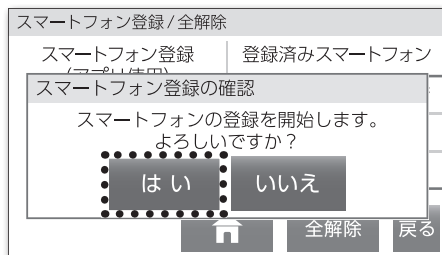
登録開始

をタッチする。

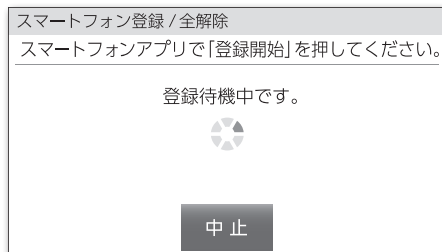


はい

をタッチする。



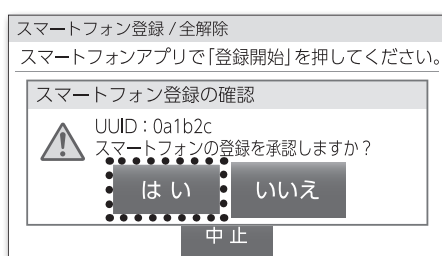
この画面が表示されたら、スマートフォンから登録操作を開始する。



3

はい

をタッチする。



登録成功

完了音が鳴ります。

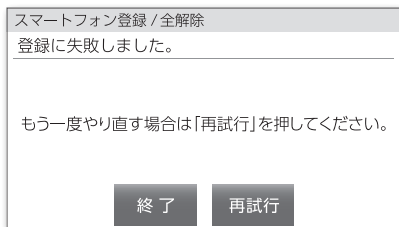
終了

をタッチする。



登録失敗

登録に失敗すると以下の画面を表示します。
受け付け禁止音“ピピピッ”が鳴ります。



もう一度やり直してください。
それでも登録できない場合は、しばらく時間を置いてからお試しく下さい。

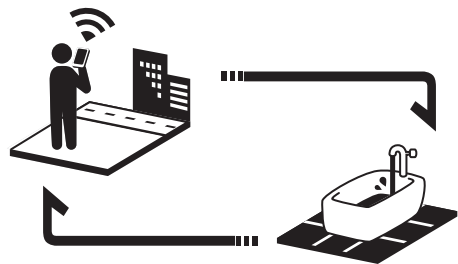
終了

スマートフォン登録/全解除画面に戻ります。

再試行

スマートフォン登録の確認画面に戻ります。

宅外からの操作



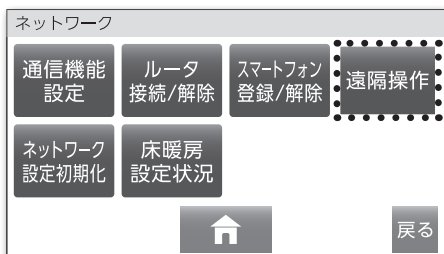
- アプリで宅外から操作を行う場合、事前に宅外操作の設定をしておく必要があります。
工場出荷時は、宅外・宅内のどちらからでも、遠隔操作可能に設定されています。設定を変更したい場合に操作を行ってください。

1

※事前確認事項3の終了後、ネットワーク画面が表示されていることを前提に説明します。

遠隔操作

をタッチする。

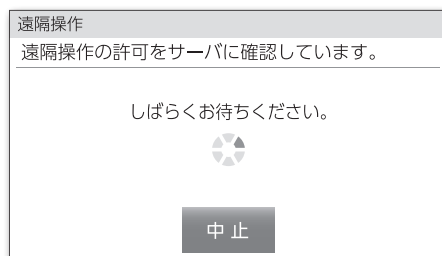
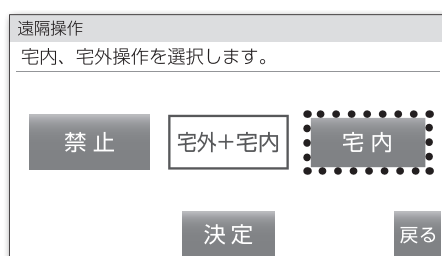


2

宅内

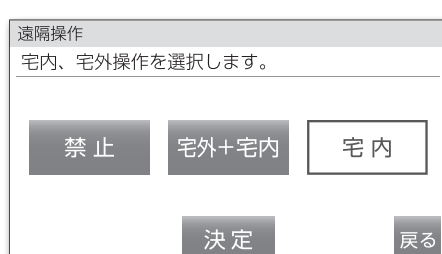
「宅内」に変更する場合で説明します。

をタッチする。



成功

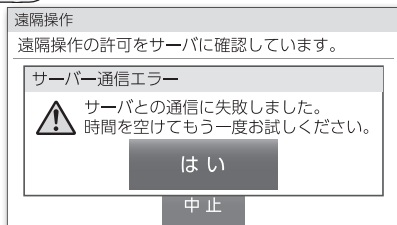
完了音が鳴ります。



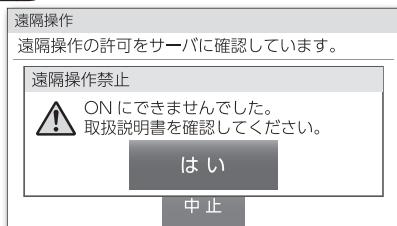
失敗

失敗すると設定は「禁止」になります。
※「禁止」に設定しようとして失敗した場合も同様です。
受け付け禁止音“ピピピッ”が鳴ります。

通信失敗



操作禁止



はいをタッチし、もう一度やり直してください。

2からやり直してください。

注意事項

- ※台所リモコンに内蔵された通信モジュールのソフトをサーバから自動的にダウンロードし、更新する場合があります。
- ※燃料電池ユニットのソフトウェアをサーバから自動的にダウンロードし、更新する場合があります。
- ※スマートフォンと無線LANルータまたはLANケーブルはお客様にてご準備ください。
- ※ご使用の無線LANルータ、スマートフォン、通信環境によってはご利用できない場合があります。
- ※サービスのご利用には、常時接続のインターネット環境と通信環境が必要です。(モバイルルータやテザリングなどではご利用いただけません)
- ※インターネット、スマートフォンのご利用に関わる料金はおお客様ご自身でお支払いください。
- ※サービス内容などは予告なく変更することがあります。

【宅外操作】

※スマートフォンアプリがしばらく使用されなかった場合、「宅外からの操作」が自動で「OFF」になる場合があります。

【遠隔操作】

※スマートフォンなどから床暖房専用リモコンを操作するためには、2001年9月以降発売の床暖房専用リモコンが設置されている必要があります。

※スマートフォンなどから浴室暖房乾燥機を操作するためには、2021年10月以降発売のインテリジェント通信対応の浴室暖房乾燥機が設置されている必要があります。

お気軽にお電話ください

パーパスお客様相談室

0545-32-1389

【受付時間】

月～金 9:00～19:00/土・日・祝 9:00～17:00

■本ガイドの情報は2022年10月現在のものです。
変更することがありますのでご了承ください。

■イラストについては実物と異なる場合があります。

■本ガイドの内容を許可なく転載することを禁じます。